



ECOまちだ

環境資源部からのお知らせ

2021年9月15日号
(年2回発行)

発行：町田市

編集：環境資源部
環境政策課

〒194-8520

町田市森野2丁目2番22号

町田市庁舎7階

電話 042・724・4386

FAX 050・3160・2758

町田市が未来の子どもたちに誇れる環境にやさしい都市になることを目指して、ECOまちだは、環境に良い行動のヒントになる様々な取り組みや情報を紹介します。

今号の紙面

2面

- エコ宣言事業所の活動をPR
- まちだの生きもの紹介
- ピオトープの投稿募集

3面

- 第3回まちだ3R賞の受賞事業所紹介
- 剪定枝たい肥を使用すると？
- ごみを燃やす行為は禁止です

4面

- ごみ指定収集袋販売収入の使い道
- 粗大ごみの出し方
- 思いやろう「生活騒音」

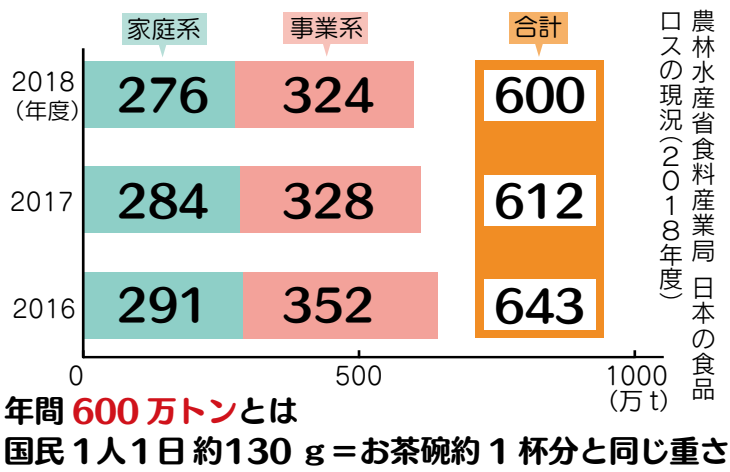


10月は食品ロス削減月間です

食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

食品ロスはどのくらい？

2012年度から農林水産省食料産業局が食品ロスの現況の推計を開始し、最新の推計の2018年度は最も少なくなりました。しかし、国内で年間600万トンもの食品ロスが発生しています。そのうちの46%（276万トン）は家庭から発生しています。もったいないですね。

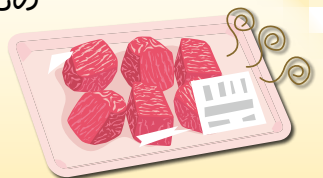


家庭から出る食品ロスってどんなもの？ 年間276万トンも出てしまった原因は何？

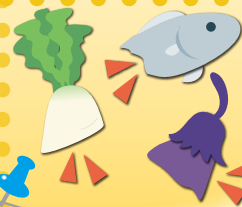
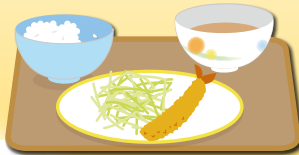
料理に使いきれずに悪くなって捨てられてしまったもの



- 賞味・消費期限が切れて捨てられたもの



食事の時に食べきれずに捨てられてしまったもの



調理の時に食べられる部分が捨てられてしまったもの

燃やせるごみの内訳は？

燃やせるごみ	割合
生ごみ	34%
プラスチック	20%
木・草類	7%
資源にできない紙類	7%
資源にできる紙類	7%
繊維類	6%
その他	19%

2020年度町田市域（J-R横浜線以南地域以外）組成調査による

家庭から出る燃やせるごみの中に一番多く含まれているのは生ごみです。

食品ロスの削減が生ごみの削減、ごみ全体の削減につながっていきます！



食品ロスを減らすための4つのキーワード

買いすぎ…買い物リストを作りましょう。必要な物が出てくるたびにメモをすると、重複して購入することを防げます。

期限切れ…知らないうちに期限が切れないように日付が新しい物を奥に入れ、手前から使うようにしましょう。

賞味期限…この日付まで「品質が変わらずおいしく食べられる期限」
消費期限…この日付まで「安全に食べられる期限」

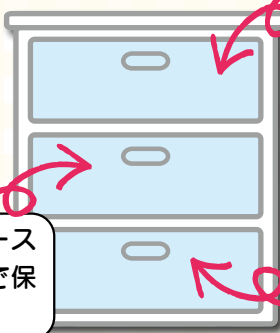
過剰除去…まだ食べられる部分は、できるだけ捨てないように、無駄なく料理をしましょう。

食べ残し…食べきれる分量を作りましょう。

食品ロスを防ぐ！ローリングストック

ローリングストックとは？

備蓄食材や賞味期限が長い缶詰やレトルト食品などを普段から定期的に「使用」して、使った分を「補充」することをいいます。



1つ目のスペースには「今年中に食べないと賞味期限が切れる物」

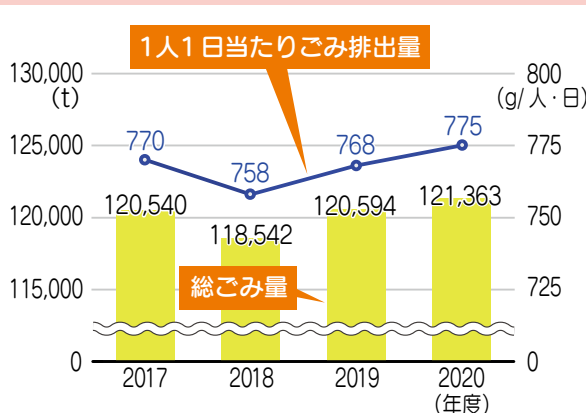
2つ目のスペースには「来年まで保存できる物」

3つ目のスペースには「再来年以降まで保存できる物」

賞味期限が長い物は奥に、近い物は手前に入れます。賞味期限が見えるように入れ、使う時は前から取り出せば賞味期限が切れることなく使い切ることができます。ローリングストックのポイントは日常で消費しながら備蓄することです。

町田市のごみ量は増加傾向に

総ごみ量と1人1日当たりのごみ排出量の推移



市の総ごみ量(ごみと資源)は2018年度まで減少傾向にありましたが、2019年度から増加傾向に転じています。このままのごみ量が続くと、市のごみ処理施設だけではごみを処理しきれなくなってしまう。

市では、1人1日当たりのごみ排出量を、2019年度比で54g(卵1個分)削減することを目標としています。

1人ひとりの心がけが、町田市全体のごみ削減につながります。環境にやさしい町田市を目指して、引き続きごみの減量にご協力をお願いします。